

鳥羽湯ったり海藻物語

2月11日 OA 分

海女・フォトグラファー 大野愛子さん

去年の10月と11月は海の中が少し心配な時期でした。

でも12月に入ったらきちんと海藻の新芽が出てきたので安心しました。

まだ石鏡の藻場は大丈夫かなと思います。

これからわかめやひじきの季節を迎えますが、この時期の海の中をきちんと見てみないと少しわからないのでその不安はありますね。

3月はいろんな海藻が成長してきます。その中に小さな魚が混じっているのですがそれを見ると生命が誕生していると感じます。

動物も植物も海藻も勢いよく育っている感じがするのでとても楽しめます。

この季節は海の透明度はよくないです。プランクトンも多いし白く濁っています。

でも陽が差し込んでキラキラしているし、春独特の芽吹いている雰囲気はとてもいいなと思います。

長く成長する海藻はアカモクです。

海底から水面までの長さがあるので深いところでは5～6メートル伸びています。

葉として大きいのはわかめです。わかめは潜って根のところから刈ります。

あと、ひじきも鎌で刈っていますね。潮が引かないときは、ひじきを刈るのは少し難しいです。お尻が浮いてしまふようなところまで潜って刈ります。

海女の仲間でそろそろ〇〇の時期だねという会話をよくします。

獲れるもので一年の季節を感じていますね。